

施策の体系と重点施策

※「施策の体系」とは、将来都市像を実現するための「基本目標」と「政策」、「施策」を体系化したものです。

Table with 4 columns: 基本目標, 政策, 施策, 重点施策. It details various goals like '豊かな自然環境を保全・活用' and 'やさしさを育てるまちづくり' with corresponding policies and measures.

Table with 4 columns: 基本目標, 政策, 施策, 重点施策. It details goals like '生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む' and '快適で暮らしやすい都市機能の充実' with corresponding policies and measures.

※重点施策の表示 「新」…新しい成長の視点 「持」…持続可能な視点 「ブ」…ブランド向上の視点 「2」…新しい成長・持続可能な2つの視点 「3」…3つの視点すべて該当

学校適正配置審議会の答申まとまる



明石会長(左)から大木教育長に答申が渡されました

市内小・中学校の適正配置についての答申書が、3月23日の印西市学校適正配置審議会で、明石要一会長(千葉敬愛短期大学学長)から大木教育長へ手渡されました。

この答申には、学校の小規模化・大規模化によって生じる教育指導や学校運営の課題を解消し、子どもたちにより良い教育環境を創造することが重要とした上で、小・中学校の適正配置のあり方や取り組み方、留意すべき点などが盛り込まれています。

小・中学校の適正配置のあり方や取り組み方、留意すべき点などが盛り込まれています。答申書を受け取った大木教育長は、「より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため努力したい」と述べました。

図学務課学校計画調整班(☎内線526)。

トピックス

中学校に楽器が寄贈されました



藤本理事長(右)から板倉市長に目録が渡されました

- ▶船越中学校…フルートなど
▶小林中学校…トロンボーンなど
▶原山中学校…フルートなど
▶本埜中学校…ピッコロなど

4月6日、(一財)藤本武弘育英会から市内全ての中学校へ楽器や視聴覚教材などが贈られました。

これは同財団の事業活動として行われたもので、寄贈された備品は、各中学校で教育活動の充実のために活用されます。

寄贈の品は次のとおりです。

- ▶印西中学校…トロンボーンなど
▶木刈中学校…クラリネットなど
▶西の原中学校…デジタルピアノなど
▶印旛中学校…デジタルピアノなど
▶滝野中学校…視聴覚教材など。

図学務課学務班(☎内線522)。

次期中間処理施設整備事業(クリーンセンター)

施設整備基本計画と地域振興策の答申まとまる

クリーンセンターの移転に伴う次期中間処理施設整備事業について、印西地区環境整備事業組合と組合の附属機関である「施設整備基本計画」、「地域振興策検討」の両委員会がこれまで調査審議した結果を答申書にまとめました。

次期中間処理施設の「施設整備基本計画」には、焼却処理方式の比較・選定、発電や熱利用の方向性のエネルギーバランスの検討、排ガス自主規制値の設定や煙突高の設定、アクセス道路のルート比較、事業方式の選定などが盛り込まれています。

「地域振興策」では、調査審議の結果、全100策のアイデアが抽出され、地域まるごとミュージアム構想として、(1)地域の持続と再生に必要なインフラ整備など(2)地域内外の人々が集う多機能な複合施設(3)次期中間処理施設からの排熱利用事業など(4)里地里山の保全活用と、4つの展開種別に分類しました。

今後は、両検討委員会の答申を踏まえ、「整備協定書」の締結に向け、周辺

住民と組合との協議を進めてまいります。これまでの次期施設に関する取り組みにつきましては、組合のホームページをご覧ください。

図印西地区環境整備事業組合印西クリーンセンター・次期施設推進班内(☎☎2734・HP http://www.inkan-jk.or.jp)。



▲現在のクリーンセンター。
▲答申書授受式後の様子。左から、岡田副管理者(栄町長)、福川委員長(地域振興策検討委員会)、板倉管理者(印西市長)、大迫委員長(施設整備基本計画検討委員会)、伊澤副管理者(白井市長)。